

倉

四年
画数
10
筆順
オソウ
クン
くら
成り立ち

↓ 倉 ↓ 倉 ↓ 倉 ↓ 倉 ↓ 倉

倉

むかし、租税として役所におさめられた米を入れておいたための「お倉」の形を表した字です。米にかぎらず、「物を入れておくためのたてもの」のことをいいます。それで、米を入れておくたてものを、今では「穀倉（米倉）」といいます。

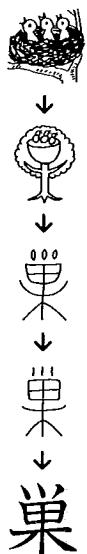
また、「物を入れておくための『場所』」の意味にも使っています。例船倉（船倉）。

〔穀物を収納することを「収蔵」と言う。蔵は、作物を収納する意味の語である。故に、倉の音は「藏」である。また、「藏」は「倉」の意味にも使われ、「くら」の訓がある。〕

巣

四年
固数
11
筆順
四年
オン
ソウ
クン
す
当単巣

成り立ち



木の上の鳥の巣の中に、ひな鳥が三羽いるすがたを表した字です。

「鳥の“す”」のことを表した字です。例巣箱、巣立ち。

「人のすむ所」という意味にも使われます。例古巣にま

いもどる、悪人の巣窟、空き巣。

また、「病巣（病気の元になつてゐる所）」というよう

な使い方もあります。

「鳥の“す”」のことを表した字です。例巣箱、巣立ち。

「人のすむ所」という意味にも使われます。例古巣にま

いもどる、悪人の巣窟、空き巣。

また、「病巣（病気の元になつてゐる所）」というよう

な使い方もあります。

△近所の家に空き巣ねらいが入つたという噂を聞きました。窓ガラスがきれいに切られていて、空き巣ねらいはそこから入つたのだそうです。近所のおばさんたちが「こわいわねえ」と話し合つていました。
△おにいさんと一緒に庭の木の枝に巣箱をかけました。庭にやつて来る小鳥たちのためにかけたのです。早く巣箱に入つて巣を作るといいな、と思ひます。ひなが生まれたら、どんなに楽しいでしよう。

熟語例

△巣箱（鳥が巣を作りやすいようにと、人が作つて木の枝などにかけておく箱）

△巣立ち（ひなが成長して巣を離れること。また、鳥になぞらえて、人間の子供が一人前になつて社会に出ること。「三人の子供たちが、めいめい巣立つて行つた後、残つた両親は、ほつと一息つきました」など）

△古巣（以前、住み家としていた所）

△巣窟（悪者などが集まつて隠れ住んでいる所）

△空き巣（くるすの家。「空き巣ねらい」というのは、るすの家をねらつて入るところです。）

四年

五六六

△むかしは、大きな家には、よくお倉があつたものです。お倉は壁が厚く、がんじようでできています。大切な物をしまうために作られていました。また、悪いことをした子供などは、罰としてお倉に入れられたりしました。

△お倉は色々な役目をしていましたが、今まで見かけることも本当に少くなりました。お倉は色々な役目をしていましたが、今まで見かけることも本当に少になりました。

熟語例

△穀倉（穀物を入れておく倉。米倉。また、穀物をたくさん産出する地方のことを、たとえて呼ぶことがあります。「ウクライナはソ連の穀倉地帯である」などといふうに、つかいます。）

△船倉（物を入れておく場所。もともとは「倉」は米倉、「庫」は車庫のことを意味しましたが、今では米や車に関係なく、物をいれておく所のことです。）

△倉庫（「ふなぐら」とも読みます。船の甲板の下にあらだ、貨物を積み込んでおく所のことです。）

△倉出し（倉庫にあづけておいた貨物を出すこと。この反対は「倉入れ」です。それぞれ、「蔵出し」「蔵入れ」とも書きます。）

便い方